

表2 平成17年1月2日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,240	407	1,647	252	666	918	1,492	1,073	2,565
	同性間の性的接触 ^{*1}	2,390	1	2,391	181	0	181	2,571	1	2,572
	静注薬物濫用	15	1	16	16	2	18	31	3	34
	母子感染	13	7	20	3	7	10	16	14	30
	その他 ^{*2}	69	28	97	18	13	31	87	41	128
	不明	417	56	473	248	477	725	665	533	1,198
	HIV合計	4,144	500	4,644	718	1,165	1,883	4,862	1,665	6,527
AIDS患者	異性間の性的接触	981	121	1,102	179	135	314	1,160	256	1,416
	同性間の性的接触 ^{*1}	765	1	766	77	2	79	842	3	845
	静注薬物濫用	7	1	8	13	0	13	20	1	21
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	48	13	61	15	8	23	63	21	84
	不明	468	50	518	246	110	356	714	160	874
	AIDS合計 ^{*3}	2,278	189	2,467	531	259	790	2,809	448	3,257
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,416	18	1,434	-	-	-	1,416	18	1,434

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2003年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数
(生存中のAIDS既発症者数167名及び死亡者数564名を含む)

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成16年12月31日)	195 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	564 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2003年5月31日現在の報告数